

都市再生整備計画(清算報告)

とどろみちく
止々呂美地区

おおさかふ みのおし
大阪府 箕面市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	おおさか 大阪府	市町村名	みのおし 箕面市	地区名	とどろみちかく 止々呂美地区	面積	215.6	ha	
計画期間	平成 22	年度 ~	平成 24	年度	交付期間	平成 22	年度 ~	平成 24	年度

目標

大目標:地域資源(歴史文化・自然・農・みどり・小中学校跡地・ダム湖用地)を活かしたまちづくり

□止々呂美の豊かな自然の享受と地域の歴史文化や資源を活かし、水と緑の健康都市(箕面森町)と共生を図りながら、まちづくりを進める。また、まちに対する愛着と誇りを再確認し、各種の交流活動を通じた情報発信とともに地域内外の人々に止々呂美の魅力を体験・実感してもらうことで、地域の賑わいと活性化を創出する。

- 目標1: 地域資源を活用し、豊かな自然や美しい景観を守ることで、止々呂美の魅力を高める
- 目標2: 地域内外との交流を行い、情報発信と魅力付けを図ることで、止々呂美の活性化を促す
- 目標3: 箕面森町との連携を図り、住民自らが止々呂美のまちづくりに取り組む

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本地域は豊能町と隣接する箕面市の北部地域に位置する市街化調整区域で、国道423号及び一級河川余野川に沿って、入母屋瓦屋根の伝統的な家屋による集落や農地が形成されている。
- 箕面市は市制施行以来、人口が約4倍に増加するなど大きな発展を遂げている。しかし、本地域では豊かな自然に恵まれているが、昭和47年の836人をピークに現在では444人に人口は減少し、加えて少子高齢化が進行している。
- 当初、本地域は市の地形や位置関係から開発が進まず、昭和47年に交通の利便性や生活環境向上など地域課題の解決に向け、民間開発企業に土地を売却し、地域周辺の宅地開発による市街化を決意する。
- 昭和47年に改定された淀川水系水資源開発基本計画に基づき、余野川ダムの開発計画が発表されるが、本地域はダム開発に対し、宅地開発の遅れを危惧し、反対を表明する。しかし、国土交通省が打ち出したダム計画に基づく地域振興整備に期待してダム用地の売却に応じ、宅地開発の水源確保と治水を兼ねる余野川ダム建設と、水と緑の健康都市との一体的整備によるまちづくりとして、推進することになる。
- その後、バブル崩壊以後の社会経済情勢の変化により、水と緑の健康都市の一部事業見直し(人口規模変更)(H15年)があったものの、本地域の思いであった「水と緑の健康都市(箕面森町)」事業は、平成19年に一部まちびらきが行われ、国道423号バイパス(箕面グリーンロード)(平成19年暫定供用開始)、新名神自動車道(平成30年開通予定)と、大規模公共事業によるまちづくりが、波及的に本地域へ貢献・寄与するものとしていたが、余野川ダム建設については、国土交通省から約30年間の事業凍結が公表された。(H21年)
- 特に余野川ダム建設による地域振興整備の本地域への貢献は期待するものが大きかったが、凍結により地元の地域振興整備の大きな課題として残された。
- 本計画の骨格となる「箕面市止々呂美地域まちづくり基本構想」が平成15年に止々呂美地域まちづくり協議会により策定され、箕面市等に提案されている。構想は、ワークショップ形式を用いて地域の老若男女が参加することで、住民総意として検討するとともに、地域の主体性づくりに寄与した。
- 平成20年に箕面森町に小中一貫校「とどろみの森学園」が開校したことに伴い、地域唯一の公共オープンスペースを備え、地域コミュニティの中心でもあった止々呂美小・中学校が廃校となる。

課題

- 課題1: 地域資源を活用し、豊かな自然や美しい景観を守り伝えること
□地域特性を保全し、未来へとつなげていくことに加え、地域資源となる歴史文化、自然、農、みどりを活かしたまちづくりにより、地域の活性化と地域内外の交流を促進することが求められる。他にも地域資源として小・中学校跡地およびダム湖用地を持ち、これらの有効な活用も必要となる。
- 課題2: 地域内外との交流を通じた地域活性化の促進
□近年の人口減少と少子高齢化の進行、若年層の流出により、地域の活力低下が懸念される。地域の魅力あふれる資源を守り伝えるためにも、地域内外における積極的な情報発信と交流は不可欠であり、それらを通じて止々呂美の活性化を図ることが重要になる。
- 課題3: 周辺環境が大きく変化する中での、地域コミュニティの維持と発展
□本地域は地縁のつながりも強く、豊かな地域コミュニティを醸成してきた。しかし、水と緑の健康都市(箕面森町)のまちびらきや、それに伴う小・中学校移転の問題など、地域内外の環境が大きく変化する中で、地域コミュニティを継続して維持することや、箕面新町と連携した新たなコミュニティへの発展が、まちづくりの大きなテーマとなる。

将来ビジョン(中長期)

本地区に対する関連計画の位置づけは以下のとおり。

- 第四次箕面市総合計画 みのおプラン2010(平成13年1月策定)
□新市街地の整備と併せて地域課題を解決するため、公共公益施設の整備など生活基盤が整ったまちをめざす。
- 新名神高速道路箕面IC整備計画及び国道423号バイパストンネル開通に対応した土地利用の検討と地域整備の推進を図る。
- 箕面市都市計画マスタープラン(平成8年8月策定)
□止々呂美地区における、農用地と住宅地が融合した環境を保全しながら、生活基盤を充足させ、自然と調和したまちづくりの実現を目標とする。
- 箕面市都市景観基本計画(平成3年3月)
□「豊かな自然景観を保全する」…北部地域は、大阪都市圏の中で希少となった自然を残しており、山の緑や溪流など豊かな自然景観を保全形成していく。
- 「自然に調和した住宅景観をつくる」…建物等にはできるだけ自然の素材を用いながら、豊かな自然景観や田畑、果樹園が広がる自然感覚あふれる風景を形成していく。
- 箕面市の市街化調整区域における土地利用の基本的なあり方(平成21年3月策定)
□止々呂美地域には、市民からも評価されている多面的機能を有する空間が多く残っており、その継承と機能維持のため、自然環境や美しい景観などの保全をめざすとともに、市街化の抑制を原則とする。
- ただし、「本市の構造上、計画的な都市的土地利用が求められる場合」や「地域住民の生活環境の改善や生活基盤の充実のため必要となる場合」にあっては、地区の実情に応じて、周辺環境との調和、既整備の基盤施設の活用などに十分配慮のうえ、必要最小限にとどめつつ、土地利用を適切に誘導する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値	目 標 値	
				基準年度	目 標 値	目 標 年度
イベント開催日数	日	旧止々呂美小中学校用地におけるイベント開催日数	旧止々呂美小中学校用地に地域の拠点施設を建設し、地域内外の交流促進と共に止々呂美全体の魅力向上に繋げる。	3	H20	20 H24
地元漁協利用者数(分派堰)	人	漁協の魚釣り年間利用者数	地元漁協の魚釣り客増により止々呂美の自然をPRし、地域活性化を目指す。	84	H20	800 H24
地元朝市の売り上げ(分派堰)	円	地元朝市の年間売り上げ	朝市の売り上げ増により、止々呂美の住民主体によるまちづくり活動を促進する。	5,800,000	H20	7,000,000 H24

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■整備方針1: 歴史文化・自然・農・みどりの活用と保全を通じた、地域の魅力向上 止々呂美の豊かな自然や農業、みどりは、住民誰もが地域固有の財産として認識している。また、地域に根ざした伝統や文化、生活風景も止々呂美の景観であり、財産である。これら財産を保全するとともに、新たな資源や空間としてダム湖用地や分派堰を利用し、地域内外の人が止々呂美の魅力を享受できるような活用を行うため、その拠点となる施設として止々呂美ふるさと自然館を整備する。</p>	<p>■高次都市施設（基幹事業／止々呂美ふるさと自然館） □地域創造支援事業（提案事業/止々呂美ふるさと自然館） ○分派堰利用（関連事業）</p>
<p>■整備方針2: 地域活性化、地域交流拠点施設の整備 地域を取り巻く環境が大きく変化中、地域が変化をしっかりと受け止めていくことが重要になる。地域の財産である歴史文化、自然や農業を守り、伝承するためにも、水と緑の健康都市(箕面森町)との共生や、人々を集め、地域をアピールする中心的な役割を担う、地域活性化や地域交流に資する拠点が求められる。そこで、小・中学校跡地の止々呂美ふるさと自然館を拠点として整備し、止々呂美の魅力を積極的に伝える。 また、ダム湖用地を止々呂美ふるさと自然館の多目的野外活動緑地場として整備し、広く他地域からの集客を行い地域間交流を実現するための緑地・広場とする。</p>	<p>■高次都市施設（基幹事業／止々呂美ふるさと自然館） □地域創造支援事業（提案事業/止々呂美ふるさと自然館） ■地域計画基盤施設（基幹事業／止々呂美ふるさと自然館野外活動緑地・サイン計画） □まちづくり活動推進事業（提案事業/地域情報パンフレット作成）</p>
<p>■整備方針3: 住民によるまちづくり活動の推進 「止々呂美らしさ」を主題とするまちづくりにおいては、地域の住民自らが、主体的かつ継続的に取り組むことが重要となる。そこで、誰もが地域への愛着や誇りを感じられるように、住民がまちづくりに参加できる場づくりや住民組織の体制づくりなどに取り組む。</p>	<p>■高次都市施設（基幹事業／止々呂美ふるさと自然館） □地域創造支援事業（提案事業/止々呂美ふるさと自然館） □地域創造支援事業（提案事業/ダム湖用地維持管理拠点施設整備） □事業活用調査（提案事業/事業効果分析調査） ○分派堰利用（関連事業）</p>
<p>その他</p>	
<p>■住民参加による事業の計画・実施に関する内容 ・本計画の「止々呂美ふるさと自然館」整備は、対象地がこれまで地域コミュニティの中心であった止々呂美小・中学校であり、整備後も新施設が継続して地域の中心となる。そこで、計画段階から地元住民を交えての検討会を約月1回のペースで開催し、その内容について議論を重ねてきた。 ・本計画の骨格となる「箕面市止々呂美地域まちづくり基本構想」が平成15年に止々呂美地域まちづくり協議会により策定され、箕面市等に提案されている。構想は、ワークショップ形式を用いて地域の老若男女が参加することで、住民総意として検討するとともに、地域の主体性づくりに寄与した。</p> <p>■事業終了後の住民等による持続的なまちづくり体制の内容 ・本計画の基幹事業である「止々呂美ふるさと自然館」の運営は指定管理者制度の活用を想定しているが、施設の「加工室」は地元住民による加工グループを中心とした利用、「農産物等展示コーナー」においては地元農家による新鮮な野菜や地域の特産品の提供を計画している。「地域福祉活動拠点」をはじめ、本施設は地域の活性化、交流拠点として機能することから、事業終了後も地元住民、止々呂美地域と連携した持続的なまちづくり体制を構築する。 ・本計画の関連事業である分派堰利用(先行する地元住民や地元団体の活動である「朝市」や「魚礁での釣り」と連携し、止々呂美地域全体としてのまちづくりをめざす。</p> <p>■まちづくりの目標の達成に向けた、交付期間中の計画の管理に関する内容 ・箕面市において各課からプロジェクトチームを結成し、本計画の検討及び遂行にあたり、継続的な地元住民を交えた検討会を実施する。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	387.7	交付限度額	155.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

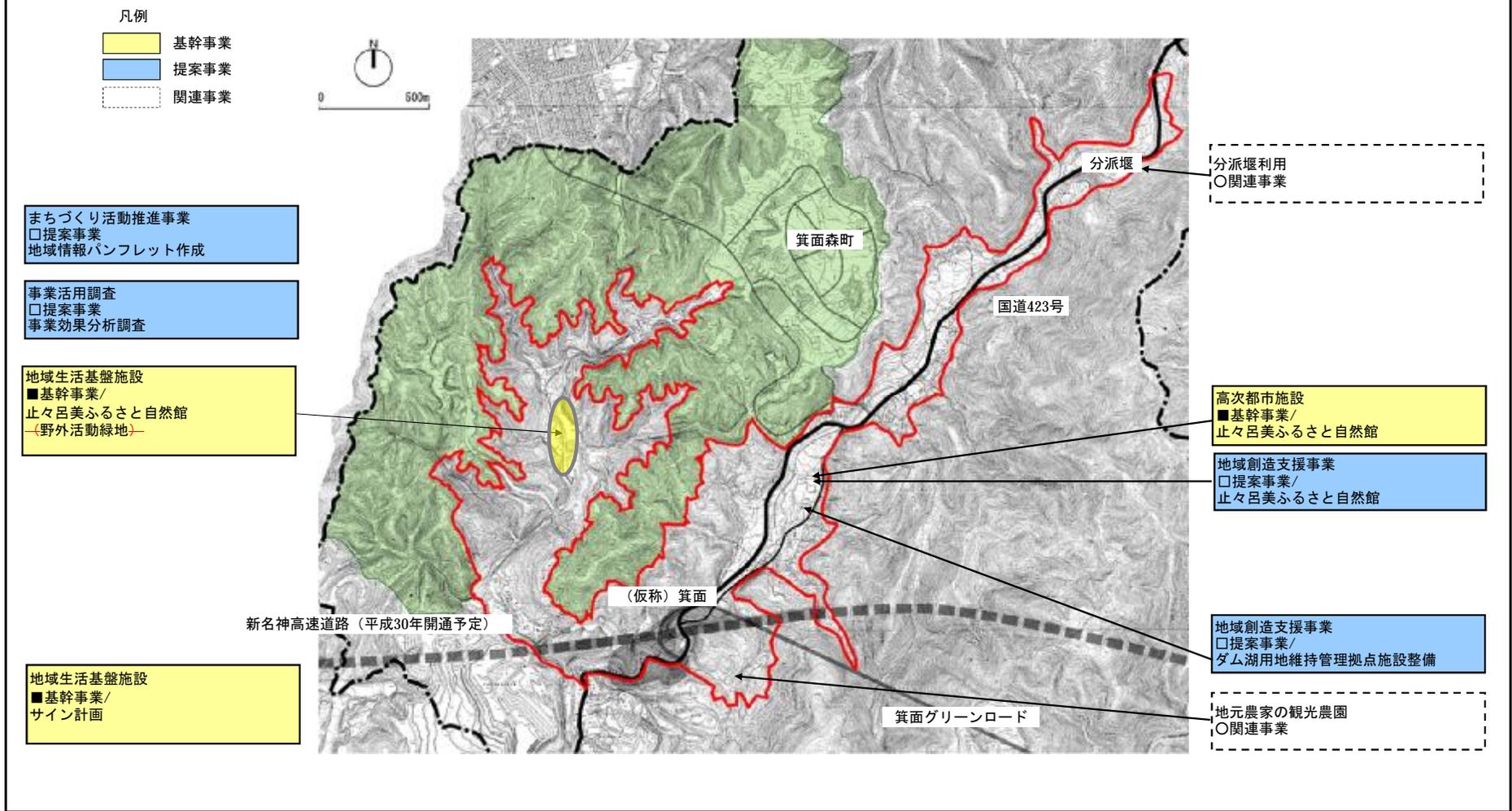
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		止々呂美ふるさと自然館(野外活動緑地)・サイン計画	市	直		平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	124.5	124.5	124.5	0	124.5
高質空間形成施設														
高次都市施設		止々呂美ふるさと自然館	市	直	延床1,405㎡	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	182.5	182.5	182.5	0	182.5
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										307.0	307.0	307.0	0	307.0
…A														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	ダム湖用地維持管理拠点施設整備	下止々呂美	市	直	延床244㎡	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	35.8	35.8	35.8	0	35.8
	止々呂美ふるさと自然館	下止々呂美	市	直	延床1,405㎡	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	41.0	41.0	41.0	0	41.0
事業活用調査	事業効果分析調査		市	直	—	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	3.0	3.0	3.0	0	3.0
まちづくり活動推進事業	地域情報パンフレット作成	止々呂美地域	市	直	—	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	0.9	0.9	0.9	0	0.9
合計										80.7	80.7	80.7	0	80.7
…B														
													合計(A+B)	387.7

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
分派堰利用	分派堰	民間		—				○	平成22年度	平成24年度	—
地元農家の観光農園	止々呂美地域	民間		—				○	平成22年度	平成24年度	—
合計											0

(変更後)

止々呂美地区(大阪府箕面市) 整備方針概要図

目標	地域資源(歴史文化・自然・農・みどり・小中学校跡地・ダム湖用地)を活かしたまちづくり	代表的な指標	イベント開催日数 (日)	3 (H20年度) → 20 (H24年度)
		地元漁協利用者数 (人)	84 (H20年度) → 800 (H24年度)	
		地元朝市の売り上げ (円)	5,800,000 (H20年度) → 7,000,000 (H24年度)	



(変更後)